

ちよつとした仕事

「保護」する「山」を「タクト」して「十九年」

い「ろん」存人が「来」た

二十「才」す「ま」かう「た」つ「て」代「主婦」の「死」手として

新「う」しい「分野」だ「う」た

お「ど」ろい「た」の「旨」 宗教「店」大の「目的」だ 大宮

公園「の」近「く」た「ら」シ「ヤ」カイ「カ」ム「な」ぶ「る」

結婚「式」や「い」ろん「存」会「合」に「係」わ「れ」て「い」た「が」

現在「も」宗教「同」年「に」か「し」て「い」る

その「宗教」店「大」に「一」役「を」つ「て」し「ま」つ「た」が「だ」

宗教「上」の「役」が「来」て「入」会「の」上「の」旨「の」説「得」を「二」時

間「に」つ「た」

年「令」が「行」く「と」ビ「ジ」ネ「ス」感「覚」が「う」ち「く」る「る」

四「才」く「ら」いの「女」が「子」を「つ」ま「し」て「来」た「子」供「の」

せ「わ」を「し」て「い」る「向」 他「手」を「し」て「く」よ「む」

娘「が」解「婚」を「し」て「お」世「を」承「か」つ「た」が「だ」

あ「ら」う「時」五「分」く「ら」いの「祈」へ「買」物「を」取「の」んだ「が」

百「才」が「帰」り「て」来「る」り 事「故」か「と」心「配」し「た」

が「大」丈夫「に」四「十」分「ほ」ど「し」て「か」え「つ」て「来」た

知「人」と「平」つ「た」が「で」ろ「ろ」の「お」茶「を」し「て」い「た」

